

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	カテーテルアブレーションを受けた持続性心房細動に併用されたベプリジルの投与期間の違いと、アブレーション後再発率との関連について
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>2017年から2021年で、新潟大学医歯学総合病院、新潟医療センターにおいて心房細動に対するカテーテルアブレーション治療を行ったすべての症例を対象とします。</p> <p>&lt;研究責任者&gt;</p> <p>所属：新潟大学医歯学総合病院 循環器内科</p> <p>氏名：長谷川 祐紀</p>	
③概要	
<p>心房細動に対するカテーテルアブレーション治療は、確立された治療方法ですが、一部の難治性症例では1回のアブレーション治療で根治しきれず、抗不整脈薬を併用することがあります。一方で、抗不整脈薬をいつまで投与するのが適切なのかについては明らかでなく、個々の患者様ごとに主治医が判断しているのが現状です。本研究では、過去に持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション治療と抗不整脈薬（ベプリジル）の投与を受けた患者様を対象に、ベプリジルの投与期間と、心房細動再発との関連を明らかとすることを目的としています。</p>	
④申請番号	2024-0149
⑤研究の目的・意義	ベプリジルは、一部に危険な不整脈を伴うことが知れています。本研究によってアブレーション後の適切な投与時期、同剤を中止可能な患者層が明らかになることによって、不必要な長期投与を避けることが出来るようになることが期待されます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2026年03月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>利用する試料・情報本研究は当施設における後ろ向き研究で、基本的に診療録に基づいて情報を収集します。個人が特定できる情報は研究には利用しませんので、本研究から個人情報が漏出することはありません。</p> <p>また、研究の成果を公表する際も個人情報が漏出することはないと、患者様に危険や不利益が生じることはありません。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、基礎疾患、病歴、投薬歴、血液検査、心電図所見、心エコー所見、ホルター心電図
⑨利用する者の範囲	<p>新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。</p> <p>新潟大学 循環器内科 長谷川 祐紀</p> <p>新潟医療センター 循環器内科 眞田 明子</p>
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	<p>新潟大学 循環器内科 長谷川 祐紀</p> <p>新潟医療センター 循環器内科 眞田 明子</p>

本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記  
にご連絡をお願いします。

所属：新潟大学医歯学総合病院 循環器内科

氏名：長谷川 祐紀

Tel：025-227-2185

E-mail：yukihasegawa@med.niigata-u.ac.jp